

同行二人、お大師様と歩む清らかな人生 会員のみなさまへ

平成23年8月20日発行 / はすの会 会報No.42

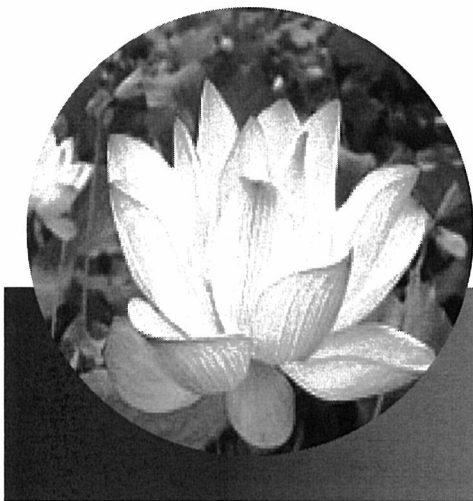
別格本山持明院はすの会事務局編集

大阪市北区梅田 1-3-1-900 大阪駅前第一ビル 9階

電話 (06) 6348-0530 FAX (06) 6348-0170

ホームページ: www.hasunokai.jp

メールアドレス renraku@hasunokai.jp



とどげ祈りの心

平成23年という年は「311」という言葉とともに東日本大震災のあった年として人々の記憶に残ることになると思います。

16年前の阪神・淡路大震災でも約六千四百名の方が亡くなられましたが、この東日本大震災では死者・行方不明者をあわせると二十万人以上となり、その被害の大きさは筆舌に尽くしがたいものとなっています。

ここ高野山でも、平成23年4月11日、高野山金剛峯寺伽藍金堂において、松永有慶管長さまをお導師に迎え、「東日本大震災物故者追悼早期復興祈願法会」が厳かに執り行われました。

未曾有の大震災発生その時(午後2時46分頃)お導師さまの洒水を合図に一山住侶約

百名の思いが込められた読経が山上に響き渡りました。また、全国の高野山真言宗寺院約三千七百カ寺においても、同時刻、一斉にこの「祈りの法会」が執り行われました。

「はすの会」でも、復興するその日まで応援していく所存です。



高野山・東日本大震災 義捐・支援金ご協力のお願い

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまへ、衷心よりお見舞い申し上げます。

観測史上最大の地震により非常に広範囲にわたって被害があり、多くの檀信徒及び寺院が被災されました。

高野山真言宗は、直後に災害対策本部を設置しました。

救援・支援活動を行うために、その活動の一環として義捐・支援金の御協力をお願いいたします。

ご賛同・ご協力いただければ幸いに存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

合掌

●義捐・支援金振込先

郵便振替

口座名 高野山真言宗特別災害寄金

口座番号 00970-1-43975

※東日本大震災と明記ください。

お問合せ先

「高野山真言宗災害対策本部」

和歌山県伊都郡高野町高野山132

高野山真言宗 社会課(連絡・平日 8:30~17:00)

電話 0736-56-2013

Fax 0736-56-2226

Email shakaika@koyasan.or.jp

御冥福をお祈り申し上げます

別格本山持明院
住職 竹内崇雄

先日、七月六日から九日まで、三月十一日に発生した東日本大震災のお見舞いに、四ヶ月近く経ってしまいました。福島市、仙台市、石巻市に行つて、関係ある御寺院と檀信徒の方々に会つて参りました。仙台空港が近づくにつれて、以前目にした光景とは変わり果てた光景に、目頭が熱くなりました。

海岸線の防風林は、疎らに残っているだけで…。

仙台空港から乗ったタクシーの運転手さんとの会話では、「地震が起きた時、空港で客待ちをしていたが、ターミナルビルに逃げて助かった。でも父親は家において、津波に流されて亡くなった」と話してくれました。

仙台市は、東北の一大都市にて、市内は何事も無かつたように見えますが、外見は大丈夫に見えても、内部が駄目になっている家が多いとか。

お寺様も本堂の外観は何ともなくても、中は御位牌が無茶苦茶になつてしまつたと、心痛の思いが伝わってまいりました。

福島市の極楽寺様は、屋根を修理している最中で「瓦が無くつて、なかなか修理が進まない」と嘆いておられました。

石巻市は、皆様がテレビでご覧になつたあのままの惨状ですが、実際に目にすると、口では言えない程の惨状でございました。

被災地・被害者の方々の一刻も早い復興をお祈り致しますとともに、亡くなられた方々の諸霊に、衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

合掌

詐欺事件についてのお詫び

この度は、新聞各紙、テレビ等での一連の報道に、会員の皆様やご親族の皆様には多大なご心配をおかけ致しましたこと、誠に申し訳ございませんでした。

事前に持明院住職と事務局長の連盟で報道の掲載予定をお送りさせて頂きました。お陰様で皆様には冷静に見極めていただき、落ち着いて対応いただけましたこと、誠にありがとうございます。

ただ、会員様には、皆様のご親族や知人の方からの再三のお尋ねに対し、ご説明やご返答に手間をおかけしたことご拝察いたし、その中で気分を害されたこともあつたかと存じます。

今後はこのような事が高野山で決して起こらないよう取り計らつていかねばならず、皆様方にも決してこのような遺憾な思いをさせはなりません。

これからも、今までと変わらず、また今まで以上に皆様にご安心を頂いてお過ごしいただけますよう、日々努めて参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

また、持明院とはすの会スタッフへの励ましやねぎらいのお言葉、お手紙なども多々いただきました。本当に皆様のお気持ちにスタッフ一同勇気付けられたこと、厚く御礼申し上げます。

◆高野山はすの会事務局員
前田 昭博

【熊野販売・詐欺事件】

本年1月より熊野販売と称する東京の会社が持明院の名を勝手に騙り、お年寄り向けに偽の永代供養証書をお年寄り向けに偽の永代供養証書を売りつけていたという詐欺事件。典型的な振り込め詐欺で、電話口であることないこと吹き込み、「後日値上がりする」、「高値で買い取る」、果ては「東日本大震災の供養になる」などと云って信用させ、一人あたり数十万円から数千万円を振り込ませていた。現在警察で捜査中。

はすの会 会員便り

「はすの会」の会員様は全国にいらつしやるため、震災による影響を受けた方も大勢いらつしやいます。

残念ながらもまだ連絡がつかない方もいらつしやるのですが、この記事の東様の奥様のお母様からご無事の連絡をいただくとともに、あわせて「読売新聞に載るのでよろしければ見てください」とお知らせをいただきましたので、今回ご紹介させていただきます。

弁護士「復興に尽くす」

大阪から気仙沼移住 被災

弁護士の少ない町で人々の役に立つと大阪から宮城県気仙沼市に移住し、東日本大震災の津波で自宅も事務所も被災した東忠宏弁護士(33)が4日、市内の洋服販売店の一角を間借りして事務所を再開した。津波で家や職を失った被災者には、家財の被害の回復、相続、雇用など法律が絡む問題は多く、「大好きなこの街の復興に弁護士人生をささげたい」と思っている。

この日、再開した気仙沼法律事務所では、被災者が次々と訪れた。応接場所は洋服店の倉庫を急ぎしらすで改造したスペースだ。「家が流された。支援してもらおう方法はないか」。深刻な表情で話す相談者の男性に、東さんが被災者生活再建支援法で、全壊なら最大300万円の支援金が出ます」などと説明すると、男性の表情が少し和らいだ。東さんは2001年に司法試験に合格後、大阪市の



洋服店の一角を間借りした事務所で再開準備を進める東弁護士(左)と妻の裕季子さん(2日、宮城県気仙沼市で)

業務再開 一生この街で

然起きた3月11日の震災。同県右巻市内を移動中、津波に襲われ、車を乗り捨てて近くのビルに逃げた。妻裕季子さんと3歳、3人の子供たちも無事だったが、気仙沼市中心部のビル2階にあった事務所は浸水、ローンで購入した自宅も1階が水没し

た。

ショックが消えないまま24日、当番に当たっていた被災者対象の法律相談に臨んだが、そこで自分よりずっと深刻な被災者の現実に向き合った。夫が亡くなったのは勤務先の会社の避難誘導に問題があったのでは、涙を浮かべて相談する被災者の女性。損害賠償を求める方法もある」と法律家として冷静に回答したが、悲しみが滲みほだ伝わってきた。被災者のためにも一刻も早く事務所を再開しなければ、業務再開に向け動き始めた。なじみの洋服店主に頼み込んで場所を借りることができた。

全財産を失った被災者も多く、自宅の建て直しなどで借金がかさみ経済的に行き詰まる人も増えることが見込まれ、被災者の生活再建の見通しがたつまで相談料は取らないことにした。

今、「これまでの弁護士生活で、自分が最も必要とされている」と思う。一生この街で復興を見つめていくつもりだ。(田中重人)

• スタッフより。
東様のご親族様と連絡がついたのは、震災より一週間後のことでした。

家族の皆様はご無事だったとのことですが、ご自宅は全壊したとのこと、当初は「着の身のまま家族みんなを肩を寄せ合っていた」そうです。

とても不安な毎日が続いたそうですが、しかし日が経つにつれ、「今こうして家族が無事でいられるのも、お大師様のお陰で、だから前を向いて進んでいこう」と思われるようになり、無事の報告の電話口でもこのことをしきりにおっしゃられておりました。

スタッフ一同本当にうれしく思います。

この夏には高野山にお参り頂けるとのことですので、その日を楽しみにお待ちしております。

“自分の始末”

• はすの会代表・上善嘗二

最近発行された曾野綾子さんの著書「自分の始末」が、いま静かなブームを呼んでいます。

年をとったら、最後の目標は、自分のことだけは何か始末しなければならぬと思っている人は、われわれの周囲に数多くいます。

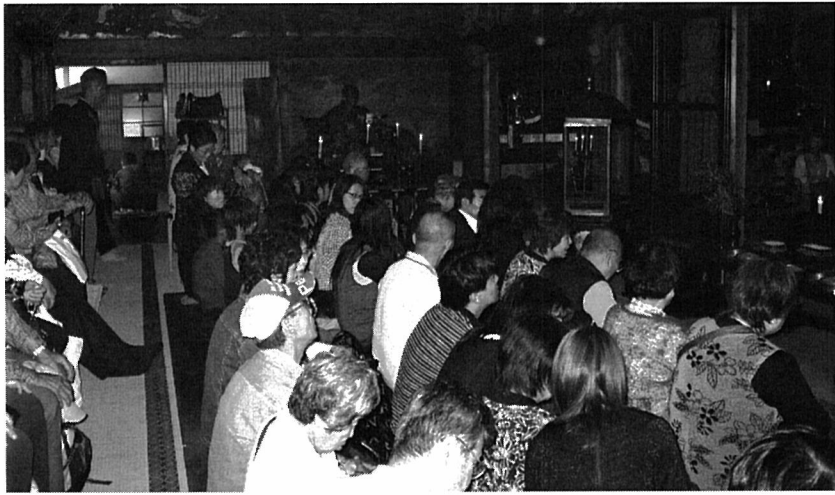
曾野氏は、著書の意図するところはたった一つ、あらゆる面ですることができる他人に迷惑をかけずに静かにこの世を終わること、と述べておられますが、私は正にそのとおりだと思います。

はたの評価はどうでもよろしい。だれをも頼らず、過去にもとらわれず、自足して静かに生きる。それができる人は、ひとかどの人物だと思えます。

地球のある時に仮初の生を受け、人生の終りに当っては、「自分の始末」を終え、自ら求める終の棲家で眠ることができれば、人として最上のしあわせではないでしょうか。

秋季合同法要のご案内

暑い日が続きますが、爽やかな高野山の秋風はいかがでしょう。今年も皆様ぜひお参りにお越しください。



◆日時
平成23年9月18日(日)
12時30分より

(集合12時15分)

◆場所
持明院・本堂

◆法要料(参加費)

無料 (ご希望によりお布施は受け付けております)

◆ご参加

自由・予約不要

◆佛舎利宝塔の参拝時間

午前の部

10時～11時30分まで

午後の部

法要後～15時30分まで

●法要の時間は約40分で、その後に仏舎利のお参りもできます。

●ご親族だけでなく、ご友人などもご参加いただけます。

●当日は12時30分ちょうどから始まりますので、15分前までにお越しください。

●持明院には駐車場がありますが、台数に限りがございますので、できるだけ電車・バスでお越しください。

●南海電鉄「こうや号」の特急券は、一ヶ月前から予約できます。

●高野山は地表より温度が下がりますので、冷えやすい方は念のため羽織るものをご持参ください。

●持明院でご昼食をご希望される場合は、ご予約が必要です。

●お一人様2,100円(精進料理) お子様向けも用意できます

●持明院は宿坊もしております。どうぞご利用下さい。

●宿泊・大人一名8,400円

南海電鉄 時刻表(3/1~11/30 土日祝専用)

難波発		高野山駅着	
行 き	8:00 (特急・こうや1号)	9:33	
	8:12	9:57	
	9:00 (特急・こうや3号)	10:34	
	9:02	10:45	
	9:24	11:06	
	10:00 (特急・こうや5号)	11:32	
10:02	11:53		
10:24	12:07		
高野山駅発		難波着	
帰 り	13:39	15:24	
	14:03	16:02	
	14:40	16:24	
	15:03	17:02	
	15:19 (特急・こうや10号)	16:50	
	15:45	17:36	
16:20 (特急・こうや12号)	17:50		
16:31	18:24		

※特急は「極楽橋」駅まで直通。その他は「橋本」駅で乗り換え。

編集後記

今回の会報はいかがでしたでしょうか。事務局ではご意見、ご感想、投稿記事を募集しております。

ホームページには紙面の都合で載せられなかった各スタッフの編集後記も掲載しております。あわせてご覧ください。

別格本山持明院「はすの会」事務局

住所 大阪市北区梅田1-3-1

大阪駅前第一ビル9F

電話 06-6348-0530

FAX 06-6348-0170

メール renraku@hasunokai.jp

HP www.hasunokai.jp